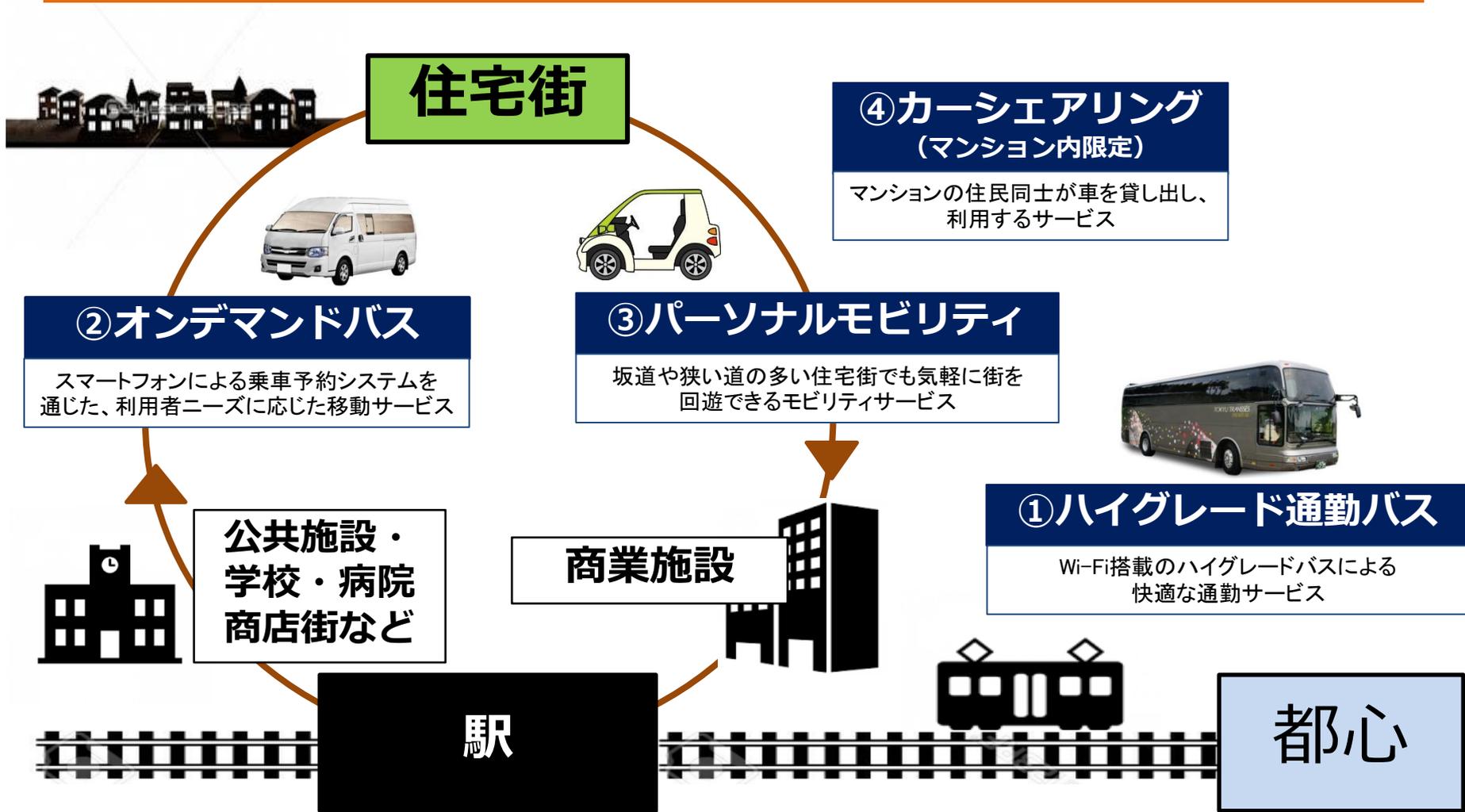
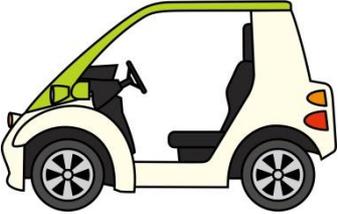
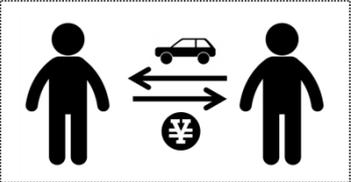


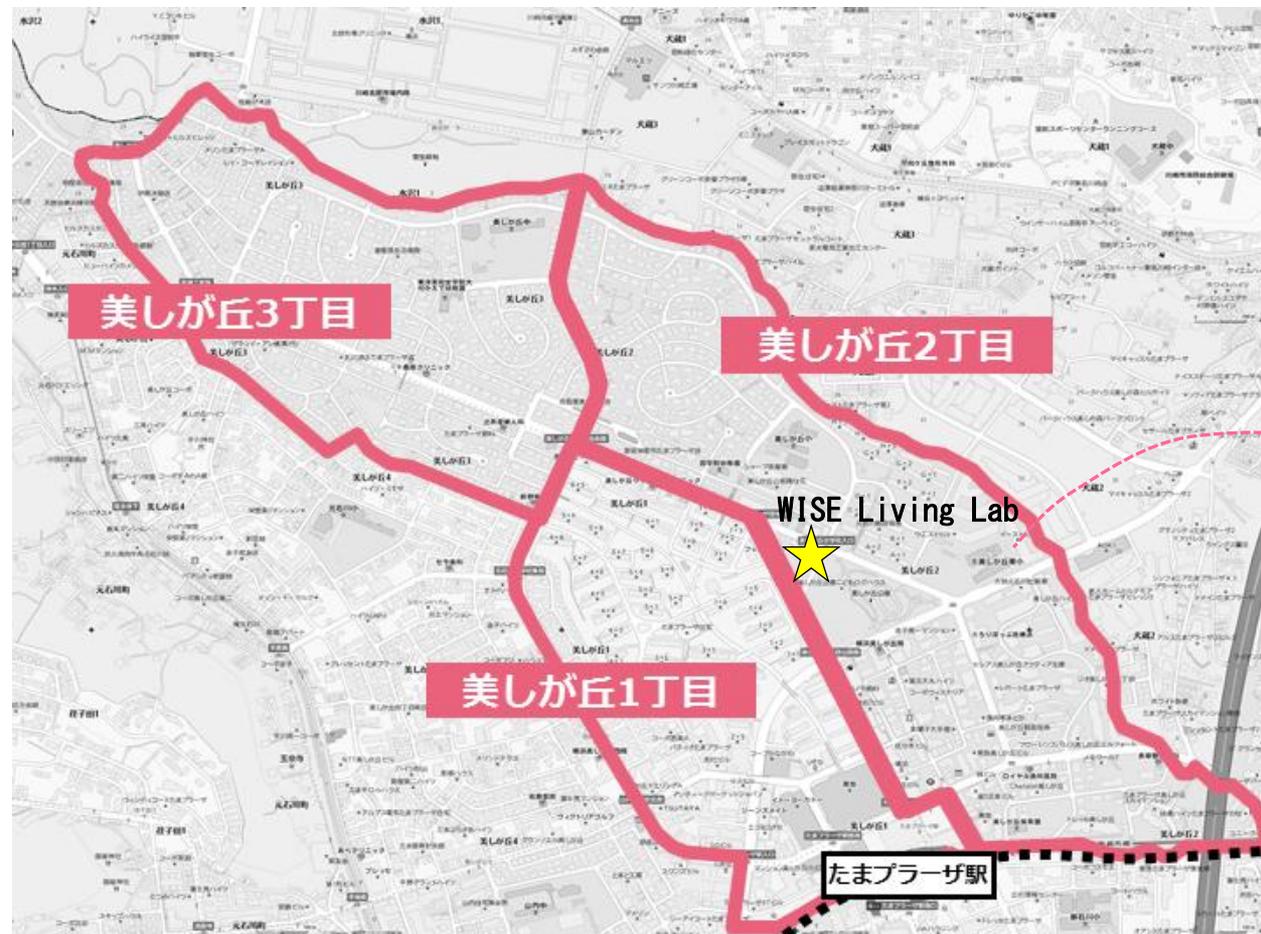
移動ニーズの多様化に合わせたモビリティ実験 ～多様な移動の選択肢の提供～



【別紙2】 実験の詳細（予定）

	①ハイグレード通勤バス	②オンデマンドバス	③パーソナルモビリティ	④マンション内 カーシェアリング 同じマンション
				
概要	平日朝の時間帯に、Wi-Fi搭載のハイグレードなバスを運行し、快適な通勤サービスを提供	スマートフォンによる乗車予約システムを通じた、利用者ニーズに応じた移動サービスを提供	坂道や狭い道の多い住宅街でも気軽に街を回遊できるモビリティサービスを提供	マンションの住民同士が車を貸し出し、利用するサービスを提供
利点	通勤中に快適に仕事などができる空間の確保	車の運転が難しい方などにとっての地域内の移動手段	買い物後の自宅への移動など、地域内を手軽に移動したい方にとっての移動手段	車を所有していない方などの利用ニーズへの対応
目的	有料着席バス輸送サービスに関する利用者意識などの調査	オンデマンドバスサービスに関するシステム評価、利用者意識などの調査	パーソナルモビリティ(小型電気自動車)の利用動向の調査	マンションの住民同士によるカーシェアリング事業の検証
運行区 間 エリア	たまプラーザ駅付近から渋谷駅 付近(片道)	WISE Living Lab～美しが丘2丁 目・3丁目～たまプラーザ駅前 など	WISE Living Labを拠点とした 周辺エリア	たまプラーザエリアのマンション (2棟)
利用 方法	所定の乗り場から乗車	スマートフォンで乗車予約し、 指定した場所から乗車	事前に所定講習を受講した上で、 スマートフォンで予約し、予約 時間中は自由に利用	スマートフォンで車両を予約し、 予約時間中は自由に利用
期 間	2019年1月～3月 平日のみ朝ラッシュ時間帯に1便	2019年1月～3月	2019年1月～2月	2019年2月～3月
募 集 対 象	田園都市線たまプラーザ駅～ 渋谷駅間の通勤定期券を お持ちの方	運行エリア周辺にお住まいの方	WISE Living Lab周辺に お住まいの方	対象のマンションにお住まいの方
募 集 上 限 人 数	24名	200名	20名	20名
利 用 料 金	無料			

【別紙3】 実証実験の対象エリア



	世帯数	人口
美しが丘一丁目	2335世帯	4745人
美しが丘二丁目	2896世帯	7265人
美しが丘三丁目	1203世帯	2883人

(出典) 横浜市統計ポータルサイト (2018年9月30日現在)

※面積1.2km²、高齢化率20%



■ たまプラーザ駅北側地区 (横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目)

【理由①】 起伏に富んだ郊外住宅街の象徴的エリア

【理由②】 「次世代郊外まちづくり」プロジェクトの一環としての位置づけ

－「次世代郊外まちづくり」モデル地区の選定理由

- ・ 田園都市線沿線で初期に開発された地区の一つで、開発から約60年が経過し、住民の高齢化、建物の老朽化などの課題が顕在化しつつある。
- ・ 住民がまちへの愛着を強く持ち、環境や景観への意識が高い。